



平成 29 年 9 月 13 日

各 位

神奈川県横浜市港北区綱島東五丁目 8 番 8 号
株 式 会 社 山 王
代 表 取 締 役 社 長 鈴 木 啓 治
(コード番号：3441)

問 い 合 せ 先 管理本部副本部 浜 口 和 雄
長兼経理部長
電 話 番 号 0 4 5 (5 4 2) 8 2 4 1

平成 29 年 7 月期連結業績予想数値と実績値との差異、個別前期実績値と当期実績値との差異及び特別損失発生に関するお知らせ

平成 29 年 3 月 14 日に公表した、平成 29 年 7 月期（平成 28 年 8 月 1 日～平成 29 年 7 月 31 日）における通期の連結業績予想数値と本日公表の連結実績数値との差異、個別前期実績値と当期実績値との差異及び特別損失の発生につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想との差異について

平成 29 年 7 月期通期連結業績予想数値と実績値との差異（平成 28 年 8 月 1 日～平成 29 年 7 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,100	125	145	195	42.24
当期実績値(B)	7,317	8	23	68	14.74
増減額(B-A)	217	△117	△122	△127	
増減率(%)	3.1	△93.6	△84.1	△65.1	
(ご参考)前期実績 (平成 28 年 7 月期)	6,406	△394	△476	△555	△120.35

差異の理由

当連結会計年度は、スマートフォン向けや車載向け製品を中心に積極的な受注活動を行ったこと等により、売上高は前回予想値を上回りましたが、想定を上回る受注増加に対し、一時的に残業時間が増加したことにより人件費が当初の想定を上回り、その後の増産体制構築のため積極的に人員採用活動を行ったこと等による経費が発生したことから、各段階利益は前回予想値を下回りました。

2. 通期個別業績実績値と前期実績値との差異について

平成 29 年 7 月期通期個別業績実績数値と前期実績値との差異（平成 28 年 8 月 1 日～平成 29 年 7 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績値(A)	3,990	△ 391	△ 374	△ 410	△89.02
当期実績値(B)	4,865	△ 115	△ 9	△ 456	△98.83
増減額(B-A)	875	276	365	△46	
増減率(%)	21.9	—	—	—	

差異の理由

前事業年度に行われた生産調整が解消したことを受け、積極的な営業活動を行ったことから、スマートフォン向け製品や車載向け製品等を中心に売上高が大幅に拡大した結果、営業利益・経常利益は赤字幅が縮小しましたが、当期純利益につきましては、関係会社出資金評価損 521 百万円の特別損失を計上したため、前期実績を下回りました。

3. 特別損失の発生について

（関係会社出資金評価損について）

当社の保有する山王電子（無錫）有限公司に対する出資金の実質価額が著しく下落したため、当該出資金について、帳簿価額を実質価額まで減額し、出資金の減少額 521 百万円を特別損失として計上いたしました。

なお、関係会社出資金評価損については、連結決算においては内部消去されるため連結損益への影響はありません。

以上